



中学生を対象とした 実習船での「体験学習」

沖縄若年内航船員推進確保協議会（事務局：沖縄総合事務局運輸部）は、中学生の希望者を募り沖縄水産高等学校にて船員志望に資する「体験学習」等の取組を行っております。

四面を海に囲まれ資源の乏しい日本では、海事産業は、国民生活にとって不可欠な産業で極めて重要な役割を果たしています。しかしながら、現在、内航船員の著しい高齢化に伴い後継者が不足し、安定的な海上輸送の確保が懸念される状況にあります。

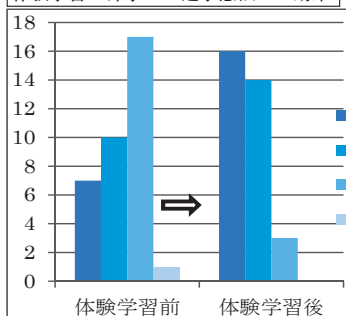
そこで、沖縄若年内航船員確保推進協議会では、去る7月28日に沖縄水産高校にて中学生を対象とした船員志望に資する「体験学習」を実施しました。

今回は、那覇・浦添・南部地区の中学生34名・教師7名・保護者11名が参加しました。当日は、沖縄水産高等学校にて船員の仕事についての説明、操船シミュレーター等の学校施設の見学、実習船「海邦丸五世」の見学、沖縄水産高校在校生による学校の紹介等を通じて船員の仕事について学び、具体的にどのようなことを学習すれば船員になることができるのかを学習しました。最後の意見交換では活発な質疑応答が行われました。

アンケート調査では、学習以前に沖縄水産高校への進学を考えていたのは17名でしたが、学習後には30名に増える等、船員への興味が深まったことが伺えました。

当協議会では、今回の中学生対象の「体験学習」に続き、今後も水産系高校在校生対象の「就業体験」、小学生対象の「海事教室」等、引き続き海事思想の普及・啓発活動を含め、若年船員の人材確保・育成に関する取組みを推進します。

体験学習の沖水への進学意欲への効果



事前アンケート

志望校について

- ◎沖水 (7) ○ほぼ沖水 (10)
- △未定 (17) ×沖水以外高校 (1)

事後アンケート

沖縄水産高校への進学について

- ◎進学したい (16) ○考慮する (14)
- △わからない (3) ×進学しない (0)



実習船「海邦丸五世」



質問に答える卒業生



クイズに答える参加者



操船シミュレーター



機関の始動



取材を受ける参加者



操舵機の試運転